

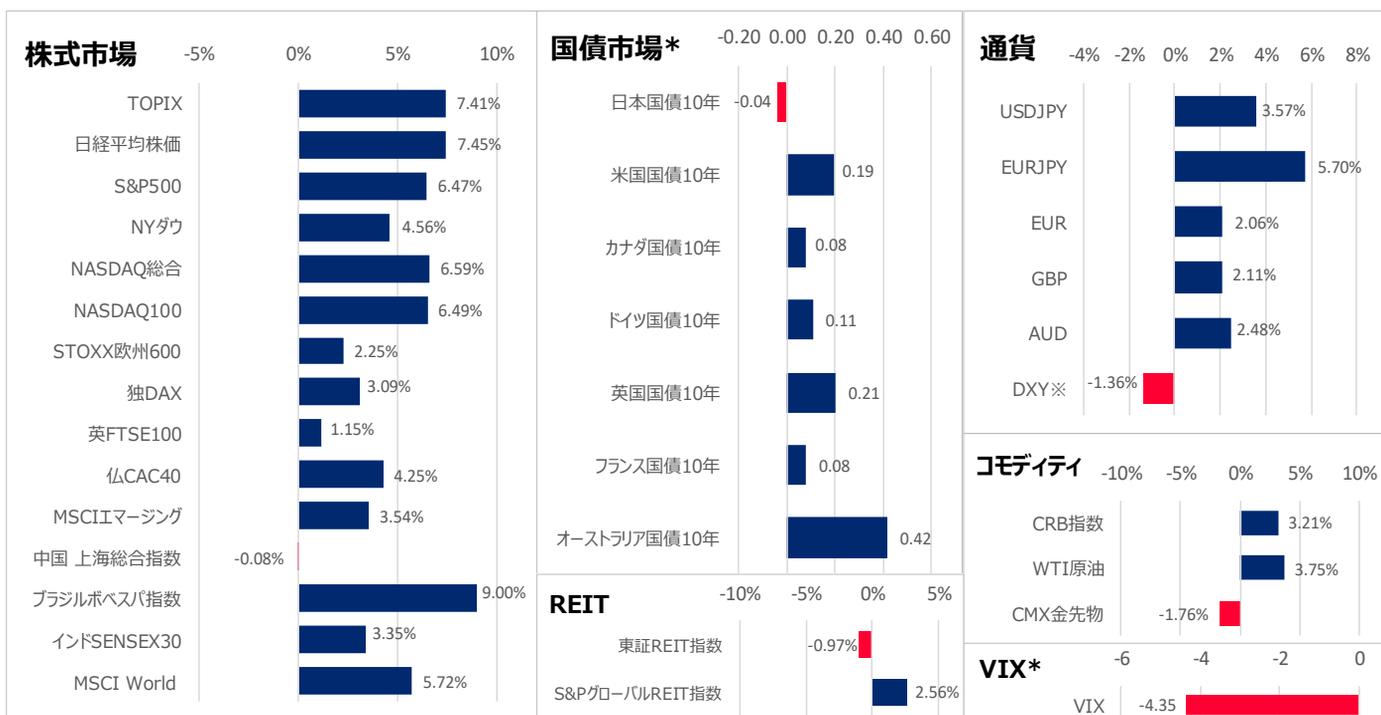
マンスリーレビュー

2023年7月

2023年6月の市場概況

- ＜株式＞** 米国株式は、米国の利上げ停止観測とインフレ指標の落ち着きなどを好感して上昇。国内株式も海外投資家の買いなどを支えに堅調に推移した。欧州株式は欧州中央銀行（ECB）や英中央銀行（BOE）の金融引き締め継続姿勢が圧迫要因に。
- ＜債券＞** 米国10年国債利回りは、米国の利上げ継続観測や堅調な経済指標を背景に上昇基調で推移した。独10年国債利回りもECBの金融引き締め継続姿勢を受けて上昇。一方、日本10年国債利回りは日銀の金融緩和継続決定を受けて前月末比で低下した。
- ＜為替＞** ドル円レートは、日米の金融政策格差を背景に円安基調が継続。米国の利上げ停止観測とECBの追加利上げ見通しを背景に、ユーロは対ドルで中旬にかけて上昇。ユーロ円レートは2008年以来の157円台まで円安ユーロ高が進行した。

2023年6月（5/31～6/30）のグローバル市場動向



※前月末比騰落率、*は騰落幅。

※DXYは主要通貨に対する米ドルの強さを示した指数。

株式

プラス要因  インフレ指標の落ち着き
 中国景気の回復期待

マイナス要因  米早期利下げ期待の後退
 景気低迷と個人消費の減速

	2023/6/30	過去1か月	3か月	年初来
TOPIX	2,288.60	7.41%	14.23%	20.98%
日経平均株価	33,189.04	7.45%	18.36%	27.19%
S&P500	4,450.38	6.47%	8.30%	15.91%
NYダウ	34,407.60	4.56%	3.41%	3.80%
NASDAQ総合	13,787.92	6.59%	12.81%	31.73%
NASDAQ100	15,179.21	6.49%	15.16%	38.75%
STOXX欧州600	461.93	2.25%	0.89%	8.72%
独DAX	16,147.90	3.09%	3.32%	15.98%
英FTSE100	7,531.53	1.15%	-1.31%	1.07%
仏CAC40	7,400.06	4.25%	1.06%	14.31%
MSCIエマージング（現地通貨建て）	152,889.30	3.54%	1.85%	5.76%
中国 上海総合指数	3,202.06	-0.08%	-2.16%	3.65%
ブラジルボブスバ指数	118,087.00	9.00%	15.91%	7.61%
インドSENSEX30	64,718.56	3.35%	9.71%	6.37%
MSCI World（現地通貨建て）	10,556.40	5.72%	7.32%	15.46%

国内株式：

- ◆ 米国株の上昇を受けて底堅い動きで始まったものの、**利益確定売りに押されて反落**するなど、上旬は方向感無く推移
- ◆ 株価指数先物・オプションの特別清算指数（SQ）算出を通過した安心感から反発すると、米利上げ停止への期待感を背景に一段高の動きに
- ◆ 米利上げ継続観測や機関投資家の売り圧力などから中旬以降は上値の重い展開

米国株式：

- ◆ 債務上限問題への警戒感が和らいだことや、**CPIの伸び鈍化を受けて利上げ停止の見方**が強まったことなどから中旬にかけて上昇
- ◆ その後は、**パウエル米連邦準備理事会（FRB）議長の議会証言を受けて利上げ継続観測**が広がったことから反落
- ◆ 好調な経済指標やインフレ指標の落ち着きなどを好感して、月末にかけて買い戻しの動きに

欧州株式：

- ◆ **市場予想を上回る鈍化となったユーロ圏のインフレ指標**や米債務上限問題の解消などを好感して上昇して始まった
- ◆ 一方その後は、ECBやBOEが金融引き締めを継続する姿勢を示したことが嫌気され、上値の重い動きになった
- ◆ 月末にかけては、米国株式の上昇や中国景気の回復期待などを背景に反発した

債券

プラス要因  世界経済の減速懸念等を背景とした、リスク回避の動き
 インフレ鈍化と景気配慮による、利上げ停止や利下げ開始の観測

マイナス要因  インフレ圧力の継続等を背景とした、米欧等での追加利上げ観測
 コロナ感染の悪影響の低減等、世界経済の回復・正常化期待

	2023/6/30	過去1か月	3か月	年初来
(国債利回り)	(利回り %)	(利回り騰落幅)		
日本国債10年	0.40	-0.04	0.05	-0.02
米国国債10年	3.84	0.19	0.37	-0.04
カナダ国債10年	3.27	0.08	0.37	-0.03
ドイツ国債10年	2.39	0.11	0.10	-0.18
英国国債10年	4.39	0.21	0.90	0.72
フランス国債10年	2.93	0.08	0.14	-0.18
オーストラリア国債10年	4.02	0.42	0.73	-0.03
		(トータルリターン…騰落率、スプレッド…騰落幅)		
USD投資適格社債_トータルリターン		0.62%	-0.36%	3.79%
USD投資適格社債_対米国債スプレッド	+1.33	-0.15	-0.12	-0.10
USDハイイールド社債_トータルリターン		1.67%	1.75%	5.38%
USDハイイールド社債_対米国債スプレッド	+3.90	-0.69	-0.65	-0.79

日本国債：

- ◆ 日本10年国債利回りは低下。日米欧の金融政策の発表を控え、月の半ばまでは狭いレンジで小動き
- ◆ **日銀金融政策会合では、大規模緩和の継続が決定**。政策修正の警戒感が後退したことで下旬にかけて低下
- ◆ その後は高値警戒感等から、月末には低下幅をやや縮小させた

米国債：

- ◆ 米国10年国債利回りは上昇。一時3.5%台を付けた後、月末にかけて3.8%台に上昇
- ◆ **米連邦公開市場委員会（FOMC）では政策金利の据置きが決定。年内に0.5%の追加利上げ見通し**が示された
- ◆ 米国に加え欧州の利上げ継続姿勢等も影響し、月の半ばにかけて債券利回りは上昇
- ◆ その後、欧州景況感の軟化で同利回りはやや低下する場面もあったが、GDPなど**堅調な米経済指標**が下旬に相次ぎ、月末にかけ再び上昇

欧州債：

- ◆ 独10年国債利回りは上昇。月の半ばにかけて上昇後、下旬には上昇幅を縮小
- ◆ 月初は5月のユーロ圏のインフレ率が予想を下回り、一時2.2%前半に低下
- ◆ **ECB理事会では0.25%の追加利上げが決定**。7月の追加利上げの可能性も示唆
- ◆ 米国のタカ派姿勢も影響し、その後一時2.5%半ばに上昇
- ◆ 下旬に発表された**欧州の景況感指数が低調**で、月末にかけて利回り上昇幅は縮小
- ◆ 周縁国の対独国債利回りスプレッドは縮小。景気懸念等で月の後半は縮小が一服

通貨

米ドル
プラス要因

- FRBの利上げ継続見通し
- 欧州景気の下振れ懸念

米ドル
マイナス要因

- 本邦当局による為替介入への警戒感
- 過度な利上げによる米景気後退リスク

	2023/6/30	過去1か月	3か月	年初来
USDJPY (米ドル/円)	144.31	3.57%	8.62%	10.06%
EURJPY (ユーロ/円)	157.44	5.70%	9.27%	12.13%
EUR (ユーロ/米ドル)	1.0909	2.06%	0.65%	1.91%
GBP (英ポンド/米ドル)	1.2703	2.11%	2.97%	5.13%
AUD (オーストラリアドル/米ドル)	0.6664	2.48%	-0.31%	-2.19%
DXY (米ドルインデックス) ※	102.91	-1.36%	0.40%	-0.59%
CRB指数	261.99	3.21%	-2.14%	-5.67%
WTI原油	70.64	3.75%	-6.65%	-11.99%
CMX金先物	1,929.40	-1.76%	-2.01%	5.65%
VIX*	13.59	-4.35	-5.11	-8.08
東証REIT指数	1,862.30	-0.97%	4.29%	-1.68%
S&PグローバルREIT指数	167.40	2.56%	-0.17%	0.37%

※DXYは主要通貨に対する米ドルの強さを示した指数

*期間騰落は変化幅

米ドル：

- ◆ 日米の金融政策格差を背景に、6月の**ドル円レートは円安基調**が継続
- ◆ 6月のFOMCで**政策金利が据え置かれるとの見方**が広がり、月前半の米ドルは、円を除く主要通貨に対し弱含む展開
- ◆ 月後半は、**パウエルFRB議長の議会証言を受けて利上げ継続観測**が広がったことから、買い戻しの動きになった
- ◆ 日銀は政策決定会合で緩和策を維持、会合後の植田総裁の会見がハト派的と受け取られたことから、ドル円レートは円安基調を強めた

ユーロ：

- ◆ 6月のユーロは対ドル、対円とも上昇
- ◆ 米国の利上げ見送り観測と**ECBの追加利上げ見通し**を背景に、ユーロの対ドルレートは月初より上昇基調
- ◆ ECBは予想通り0.25%の利上げを決定、**ラガルドECB総裁は理事会後の会見で追加利上げに言及**
- ◆ 下旬に予定されたパウエルFRB議長の議会証言を前に、ユーロドルはもみ合う場面もあった
- ◆ ユーロ円レートは2008年以來、約15年振りの157円台まで円安ユーロ高が進んだ

今月のトピック

～J-REITはオフィス銘柄の回復に期待～

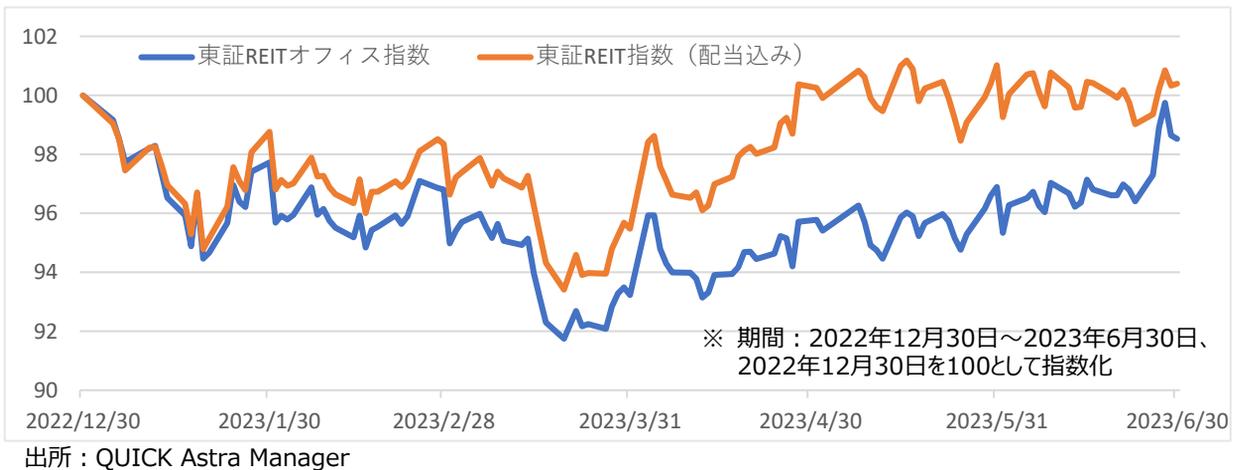
[足元のJ-REIT動向]

- 国内の株式市場は東証のPBR1倍に向けた取り組みや海外投資家による継続的な資金流入などを背景に、大きく上昇しています。一方で、J-REITは底堅い展開が続いているものの、大きく上昇するには材料が乏しい状況が続いています。

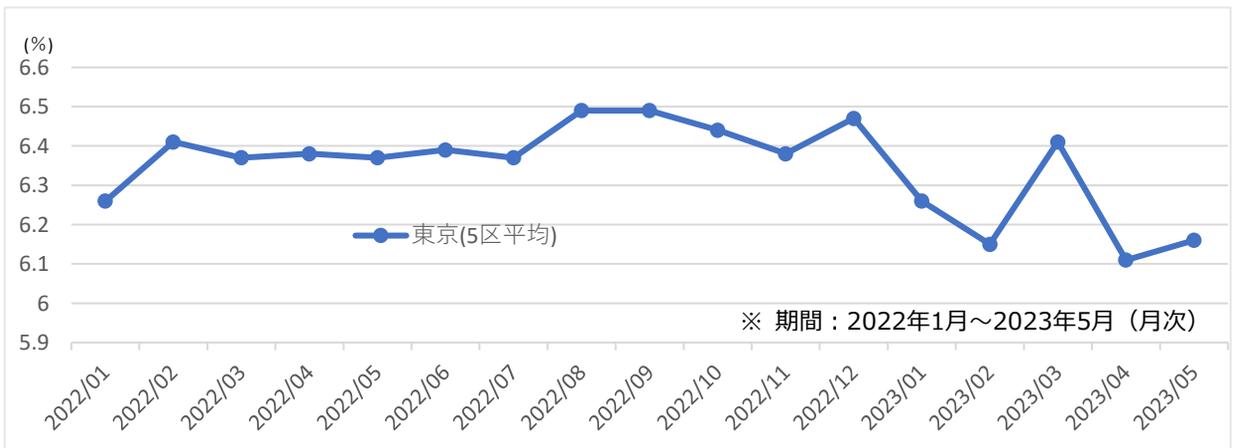
[オフィスセクターは割安な水準が続いている]

- 今年の夏以降に大量の新築オフィスが都内で開業することを受けて、オフィスマーケットの需給が悪化すると懸念が続いています。東証REITオフィス指数は東証REIT指数に劣後する展開が続いています【図1】。
- 足元では、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけを5類に引き下げたことでオフィス回帰への動きが強まり、東京都のオフィスの空室率は低下してきました【図2】。
- 夏場にかけてオフィス大量供給に対する先行き不透明感が晴れば、オフィス銘柄を中心に資金流入が期待できます。
- オフィス特化型のNAV倍率は1倍割れが続いています。分配金利回りも高位で推移しており、バリュエーション面から見ても割安な水準だと言えます【図3】。

【図1】東証REIT指数の推移



【図2】東京都（5区平均）のオフィス空室率



今月のトピック

～J-REITはオフィス銘柄の回復に期待～

【図3】J-REITのバリュエーション

	NAV倍率 (倍)				分配金利回り (%)			
	2022/12/30	2023/01/31	2023/03/31	2023/06/30	2022/12/30	2023/01/31	2023/03/31	2023/06/30
2971	0.98	0.95	0.88	0.99	5.4	9.07	5.66	5.02
2972	0.71	0.71	0.66	0.74	5.02	5.05	5.42	5.23
2979	1.12	1.02	1.03	1.03	3.86	4.06	4.04	4.01
2989	1.09	1.1	1.44	1.53	5.27	5.21	5.66	5.3
3226	1.03	1	1.02	1.08	3.48	3.6	3.52	3.18
3234	0.96	0.9	0.89	0.89	3.86	4.11	4.13	4.13
3249	1.12	1.06	1.08	1.14	4.04	4.26	4.27	4.06
3269	1.01	0.94	0.9	0.97	3.37	3.6	3.64	3.35
3278	0.99	0.93	0.9	1.03	4.06	4.31	4.04	3.53
3279	0.89	0.84	0.81	0.86	4.5	4.8	4.94	4.64
3281	1.04	1.01	0.98	0.96	4.04	4.17	4.28	3.92
3282	0.95	0.92	0.98	1.07	3.64	3.73	3.56	3.25
3283	1.19	1.09	1.04	1.11	3.18	3.34	3.51	3.4
3287	1.28	1.34	1.24	1.1	2.35	2.24	2.42	2.71
3290	0.85	0.83	0.78	0.85	5.29	5.39	5.76	5.21
3292	0.99	0.92	0.96	1.03	4.23	4.55	4.62	4.31
3295	0.87	0.83	0.8	0.85	4.24	4.48	4.65	4.32
3296	0.82	0.78	0.74	0.79	4.75	4.99	5.16	4.84
3309	0.82	0.78	0.79	0.91	4.59	4.82	4.76	4.51
3451	0.88	0.87	0.88	0.87	5.35	5.42	5.37	5.36
3453	0.97	0.93	0.9	1.07	5	5.22	5.41	4.52
3455	1.38	1.24	1.22	1.21	3.87	4.3	3.98	4.01
3459	1.08	1.02	0.92	0.98	4.75	5.04	4.87	4.67
3462	0.92	0.86	0.84	0.93	4.06	4.36	4.46	4.09
3463	0.82	0.87	0.77	0.77	2.71	2.56	3.04	3.03
3466	1.02	1	0.98	0.94	3.84	3.91	4	4.08
3468	0.95	0.9	0.86	0.93	5.34	5.6	5.66	5.23
3470	0.91	1.06	1.08	1.09	5.56	5.83	5.8	5.76
3471	1.05	0.99	0.99	1.06	3.49	3.7	3.77	3.5
3472	0.56	0.55	0.58	0.58	4.31	4.7	4.51	4.46
3476	0.86	0.83	0.86	0.86	5.68	5.86	5.7	4.97
3481	1.23	1.19	1.14	1.03	3.61	3.73	3.9	3.79
3487	1.09	1.05	0.96	1.13	6.73	7	4.29	4.06
3488	0.81	0.8	0.75	0.78	5.18	5.29	5.65	5.31
3492	0.96	0.94	0.94	0.93	5.45	5.56	6.04	5.38
3493	1.11	1.07	1.01	0.88	3.83	3.97	4.2	4.18
8951	0.96	0.92	0.9	0.92	3.91	4.05	4.17	4.06
8952	0.95	0.92	0.87	0.92	3.95	4.09	4.31	4.19
8953	0.94	0.9	0.86	0.86	4.35	4.54	4.71	4.67
8954	0.93	0.89	0.84	0.87	4.18	4.36	4.64	4.21
8955	0.92	0.88	0.87	0.87	4.18	4.4	4.35	4.36
8956	0.93	0.89	0.91	0.9	3.9	4.04	4.67	4.67
8957	0.97	0.92	0.84	0.89	3.89	4.12	3.75	3.53
8958	0.83	0.82	0.8	0.82	5.3	5.33	5.47	5.32
8960	0.89	0.87	0.84	0.85	4.11	4.26	4.41	4.33
8961	0.95	0.95	1.2	1.26	4.02	4.02	4.31	4.4
8963	0.94	1.02	1	1.03	2.56	2.99	2.73	4.76
8964	1.09	1.07	1.01	1	4.29	4.38	4.62	4.69
8966	1.1	1.01	1.02	1.01	4.1	4.14	4.1	4.32
8967	1.01	0.96	0.94	1	3.31	3.5	3.48	3.28
8968	0.94	0.92	0.89	0.89	4.12	4.21	4.34	4.33
8972	0.79	0.76	0.75	0.84	4.53	4.7	4.73	4.38
8975	0.86	0.86	0.98	0.89	9.72	9.71	8.53	4.5
8976	0.79	0.76	0.75	0.77	4.25	4.48	4.52	4.37
8977	0.89	0.83	0.81	0.84	3.9	4.09	4.22	4.04
8979	1.1	1.05	1.06	0.96	4.71	4.9	4.89	3.93
8984	0.95	0.91	0.88	0.87	3.81	3.96	4.12	4.05
8985	0.99	1.05	0.96	0.94	0.42	0.82	2.66	2.72
8986	1.01	0.96	0.96	0.95	3.82	4.04	4.04	3.84
8987	0.78	0.74	0.71	0.74	4.27	4.51	4.67	4.46

出所：QUICK Astra Manager

※オフィス特化型銘柄を太字としている。

※2023年6月30日時点でNAV倍率が1倍を割れている銘柄を青色でハイライト。

※2023年6月30日時点で分配金利回りが4%以上の銘柄を緑色でハイライト。

2023年7月のイベント

日本・中国		米国		欧州・その他	
3日	日銀短観(6月)、 中国財新製造業PMI(6月)	3日	ISM製造業景況指数(6月)	4日	ドイツ貿易収支(5月)
5日	中国財新非製造業PMI (6月)	5日	製造業受注・耐久財受注 (5月)、FOMC議事録	5日	ユーロ圏PPI(5月)
7日	日本毎月勤労統計(5月)	6日	貿易収支・ISM非製造業景 況指数(6月)、 JOLTS求人件数(5月)	6日	ユーロ圏小売売上高・ ドイツ製造業受注(5月)
10日	日本経常収支(5月)、 中国CPI・PPI(6月)	7日	雇用統計(6月)	7日	ドイツ鉱工業生産(5月)
11日	日本マネーストック統計(6月)	12日	CPI(6月)、ページブック	11日	ドイツZEW景気指数(7月)、 英国失業率(6月)
12日	日本国内企業物価指数 (6月)・機械受注(5月)	13日	PPI(6月)	13日	ユーロ圏鉱工業生産(5月)、 英国鉱工業生産・製造業生 産・貿易収支(5月)
13日	中国貿易収支(6月)	14日	輸入物価指数(6月)、ミシガ ン大学消費者信頼感(7月)	14日	ユーロ圏貿易収支(5月)
14日	日本鉱工業生産確報 (5月)	17日	NY連銀製造業景気指数 (7月)	19日	ユーロ圏CPI確報(6月)、 英国CPI・PPI(6月)
17日	中国GDP(4-6月)、鉱工業 生産・小売売上高・固定資 産投資(6月)	18日	小売売上高・鉱工業生産 (6月)	20日	ユーロ圏経常収支(5月)、 ユーロ圏消費者信頼感(7月)、 ドイツPPI(6月)
18日	日本第3次産業活動指数 (5月)	19日	住宅着工件数・ 建設許可件数(6月)		
20日	日本貿易収支(6月)	20日	中古住宅販売件数(6月)		
21日	日本全国CPI(6月)	24日	製造業・非製造業PMI(7月)	21日	英国小売売上高(6月)
24日	日本製造業/非製造業 PMI(7月)	25日	コンファレンスボード消費者信 頼感指数(7月)	24日	ユーロ圏製造業・非製造業 PMI(7月)、英国製造業・非 製造業PMI(7月)
28日	日銀金融政策決定会合 (27日-)、東京CPI(7月)	26日	FOMC(25日-)、 新築住宅販売件数(6月)	25日	ドイツIFO企業景況感(7月)
29日	住宅着工戸数(6月)	27日	GDP(4-6月)、 耐久財受注(6月)	27日	ECB理事会
31日	日本小売売上高・鉱工業生 産・住宅着工件数(6月)、 中国製造業/非製造業 PMI(7月)	28日	雇用コスト指数(4-6月)、 PCEデフレーター(6月)	28日	ドイツCPI(7月)
		31日	シカゴPMI(7月)、 米銀融資担当者調査(7月)	31日	ユーロ圏GDP(4-6月)、 ユーロ圏CPI(7月)、 ドイツGDP(4-6月)

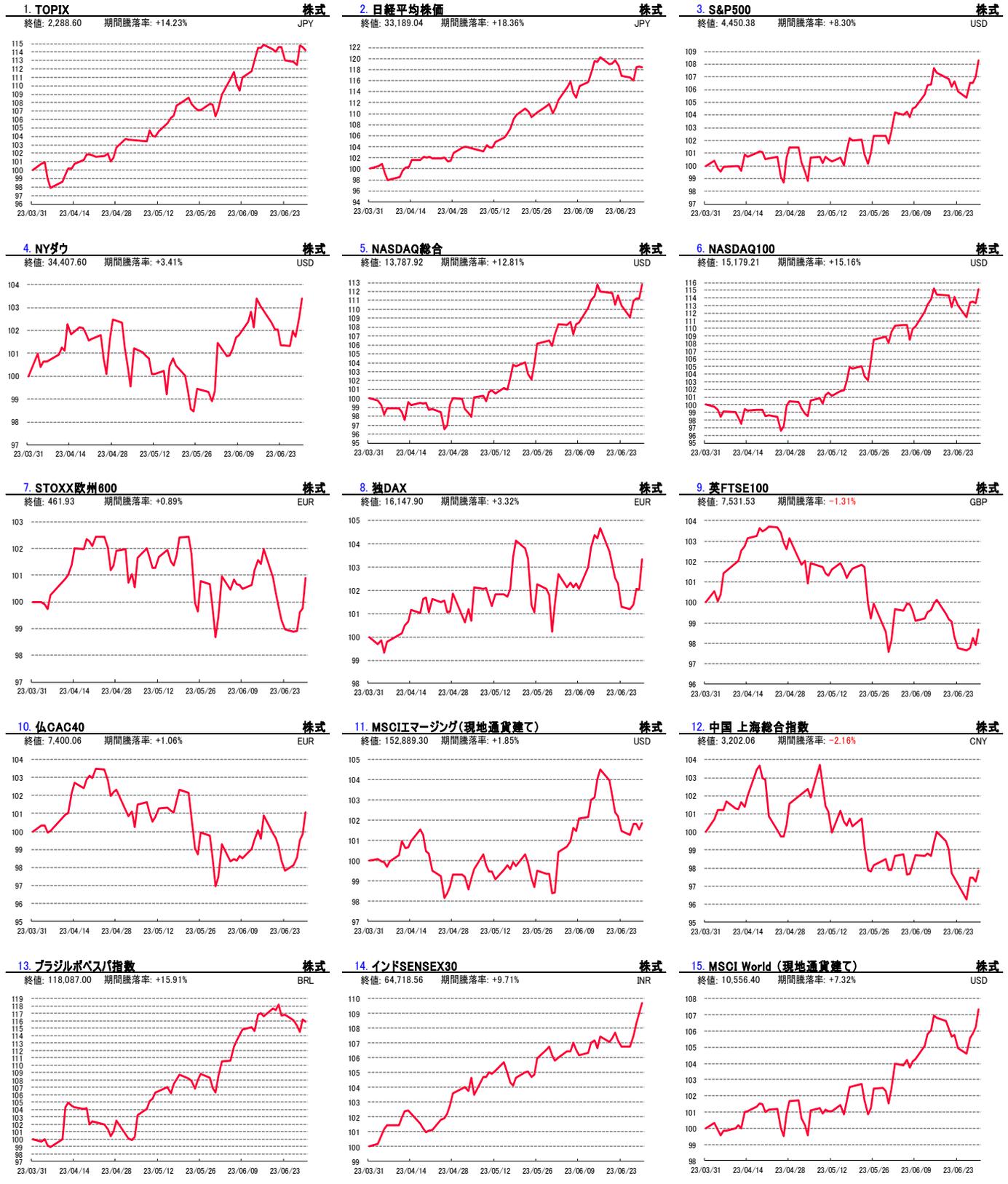
【英語表記について】(アルファベット順)

BSI：ビジネスサーベイインデックス、CPI：消費者物価指数、ECB：欧州中央銀行、FOMC：連邦公開市場委員会、FRB：連邦準備制度理事会、GDP：国内総生産、IFO：IFO経済研究所（ドイツ）、ISM：全米供給管理協会、JOLTS：求人労働異動調査、OECD：経済協力開発機構、PCE：個人消費支出、PMI：購買担当者景気指数、PPI：生産者物価指数、ZEW：欧州経済研究センター（ドイツ）

※ 最終ページの「当資料のお取り扱いに関する留意事項、使用している指数等について」をご確認ください。

appendix

株式



※ 直近3カ月（2023年4月～2023年6月）の日足チャートです。起点(2023年3月末日)を100として指数化しています（実数値ベース以外）。

※ 各指数につきましては最終ページをご参照ください。

※ ブルームバーグデータをもとに弊社作成。

※ 最終ページの「当資料のお取り扱いに関する留意事項、使用している指数等について」をご確認ください。

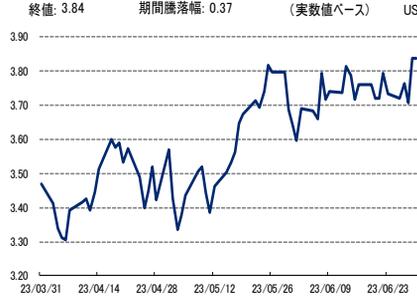
appendix

債券

16. 日本国債10年 債券



17. 米国国債10年 債券



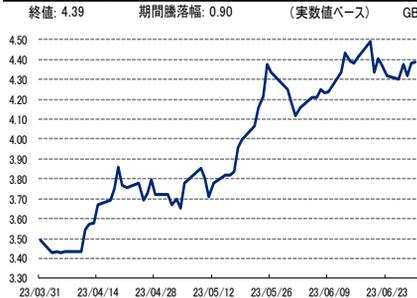
18. カナダ国債10年 債券



19. ドイツ国債10年 債券



20. 英国国債10年 債券



21. フランス国債10年 債券



22. オーストラリア国債10年 債券



23. USD投資適格社債 トータルリターン 債券



24. USD投資適格社債 対米国債スプレッド 債券



25. USDハイイールド社債 トータルリターン 債券



26. USDハイイールド社債 対米国債スプレッド 債券



※ 直近3カ月（2023年4月～2023年6月）の日足チャートです。起点(2023年3月末日)を100として指数化しています（実数値ベース以外）。
 ※ 各指数につきましては最終ページをご参照ください。
 ※ ブルームバーグデータをもとに弊社作成。

※ 最終ページの「当資料のお取り扱いに関する留意事項、使用している指数等について」をご確認ください。

appendix

為替/コモディティ/VIX/REIT

27. USDJPY(米ドル/円) 為替

終値: 144.31 期間騰落率: +8.62%

JPY



28. EURJPY(ユーロ/円) 為替

終値: 157.44 期間騰落率: +9.27%

JPY



29. EUR(ユーロ/米ドル) 為替

終値: 1.09 期間騰落率: +0.65%

EUR



30. GBP(英ポンド/米ドル) 為替

終値: 1.27 期間騰落率: +2.97%

GBP



31. AUD(オーストラリアドル/米ドル) 為替

終値: 0.67 期間騰落率: -0.31%

AUD



32. DXY(米ドル・インデックス) 為替

終値: 102.91 期間騰落率: +0.40%

USD



33. CRB指数 コモディティ

終値: 261.99 期間騰落率: -2.14%

USD



34. WTI原油 コモディティ

終値: 70.64 期間騰落率: -6.65%

USD



35. CMX金先物 コモディティ

終値: 1,929.40 期間騰落率: -2.01%

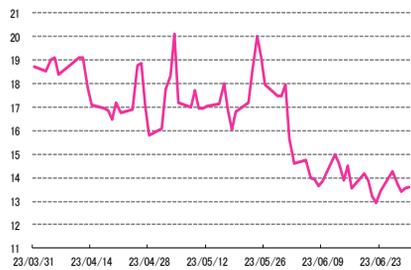
USD



36. VIX VIX

終値: 13.59 期間騰落率: -5.11 (実数値ベース)

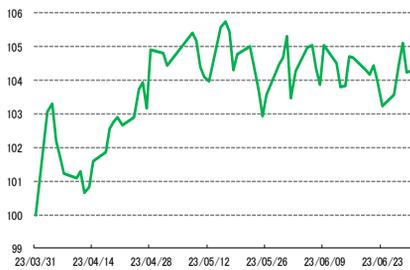
USD



37. 東証REIT指数 REIT

終値: 1,862.30 期間騰落率: +4.29%

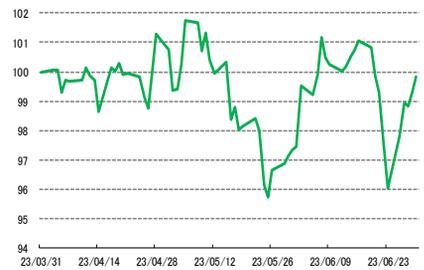
JPY



38. S&PグローバルREIT指数 REIT

終値: 167.40 期間騰落率: -0.17%

USD



※ 直近3カ月 (2023年4月~2023年6月)の日足チャートです。起点(2023年3月末日)を100として指数化しています(実数値ベース以外)。
 ※ 各指数につきましては最終ページをご参照ください。
 ※ ブルームバーグデータをもとに弊社作成。

※ 最終ページの「当資料のお取り扱いに関する留意事項、使用している指数等について」をご確認ください。

当資料のお取り扱いに関する留意事項、使用している指数等について

当資料は情報提供を目的としてPayPayアセットマネジメント株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は当社が信頼できると判断した情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中に記載した内容、数値、図表等は、当資料作成時点のものであり、今後、予告なく変更することがあります。当資料で使用している各指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。なお、当資料のいかなる内容も将来の投資成果を示唆ないし保証するものではありません。

使用している指数は以下の通り（すべて現地通貨建て）

【株式】TOPIX：東証株価指数、S&P500：S&P500種株価指数、NYダウ：ダウ工業株30種平均指数、NASDAQ総合：ナスダック総合指数、NASDAQ100：ナスダック 100指数、STOXX欧州600：STOXX Europe 600種株価指数、独DAX：ドイツDAX指数、英FTSE100：イギリスFTSE100指数、仏CAC40：フランスCAC40指数、MSCIエマージング（現地通貨建て）：MSCIエマージング・グロス・トータルリターン・インデックス、中国 上海総合指数：中国 上海総合指数(Shanghai Stock Exchange Composite Index)、ブラジルボベスパ指数：ブラジル ボベスパ指数 (Ibovespa Index)、インド SENSEX30：S&P BSEセンセックス指数（S&P BSE Sensex Index）、MSCI World（現地通貨建て）：MSCIワールド・グロス・トータルリターン・インデックス

【債券】USD投資適格社債_トータルリターン：Bloomberg Barclays米ドル建て投資適格社債トータルリターン・インデックス、USDハイイールド社債_トータルリターン：Bloomberg Barclays米国米ドル建てハイイールド社債トータルリターン・インデックス

【コモディティ】CRB指数：TR/CC CRB Excess Return Index、WTI原油：WTI原油先物価格1番限、CMX金先物：COMEX金先物価格1番限、VIX：CBOE S&P500ボラティリティ・インデックス

【REIT】S&PグローバルREIT指数：S&P Global REIT USD Index

出所：ブルームバーグ